

授業科目	海外研修 A				実務家教員担当科目	-
単位	2	履修	選択	開講年次	1	開講時期 通年
担当教員	Kristen Maree Sullivan					
授業概要	<p>この科目は、夏季および春季休暇中に、本学が指定する海外研修プログラムに自律的に参加するものです。プログラム参加を通して、異文化理解・異文化適応能力、語学力、課題解決能力を育成するとともに、グローバルな視野を身につけることを目的とします。（但し、海外研修プログラムにより重点が異なります。）説明会でそれぞれの海外研修プログラムの内容や全体のスケジュールなどを必ず確認してください。そのうえで、自身の目標等に合わせて参加するプログラムを決めて、責任をもって諸手続きや事前準備などに取り組んでください。出発前には、海外渡航に必要な諸手続きや、海外生活に向けての安全対策や心構えに関する事前準備を行います。また、帰国後は報告会を行います。事前・事後指導は、土曜日や夏休み・春休み期間を使い集中的に行います。海外留学にかかる諸経費は、すべて受講生の自己負担となります。</p> <p>※海外渡航のためパスポートが必要です。パスポートを持っていない場合早めに申請してください。パスポートをすでに持っている場合、「現地を出国時に半年以上」の残存有効期間がないと推定できる場合、パスポートの更新を行ってください。</p> <p>◎3種類の海外研修プログラムから選べます：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 短期海外研修（グループで参加）</li> <li>② 語学留学（個人で参加）</li> <li>③ インターンシップ留学（個人で参加）</li> </ul>					
授業形態	対面授業			授業方法	グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション、海外研修実践	

## 学生が達成すべき行動目標

学生が達成する行動目標	
標準的レベル	<ol style="list-style-type: none"><li>海外研修先の様々な場で、様々な相手とコミュニケーションをはかろうとすることができる。</li><li>様々な状況や問題に柔軟に対応しようとすることができる。</li><li>海外研修での経験を客観的に振り返ることができる。</li></ol>
理想的レベル	<ol style="list-style-type: none"><li>海外研修先の様々な場で、自分から進んで様々な相手とコミュニケーションをはかろうとすることができる。</li><li>様々な状況や問題に対し、主体的に動き柔軟に対応しようとすることができる。</li><li>海外研修での経験を客観的に振り返り次に活かそうとすることができる。</li></ol>

## 評価方法・評価割合

評価方法	評価割合（数値）	備考
試験	0	
小テスト	0	
レポート	40%	
発表（口頭、プレゼンテーション）	20%	帰国後の報告会での発表
レポート外の提出物	0	
その他	40%	事前準備中の自律的な取り組み姿勢（20%）、研修中の取り組み姿勢（20%）



より効果が期待できるでしょう。しっかり対象言語で自分の考えを伝えられるよう練習をしてください。) また、自分が渡航する国の文化や社会について十分に調べて理解を深めてください。異文化の中で生活する際には自分の常識が通用しないことがあります。現地の人たちとしっかりコミュニケーションを取りながら現地の習慣や考え方を柔軟に取り入れることができるように準備しておきましょう。

